



RYODEN

2023年3月期 第2四半期

決算説明会

菱電商事株式会社

2022年11月14日
東証プライム
証券コード 8084

1. 菱電商事について
2. 2023年3月期 第2四半期決算サマリー
3. セグメント別の実績・見通し
4. 株主還元
5. 成長戦略

1. 菱電商事について

設立：**1947年**

事業所数：**国内29拠点、海外19拠点**

従業員数：**1,214名**

売上高：**2,291億円**

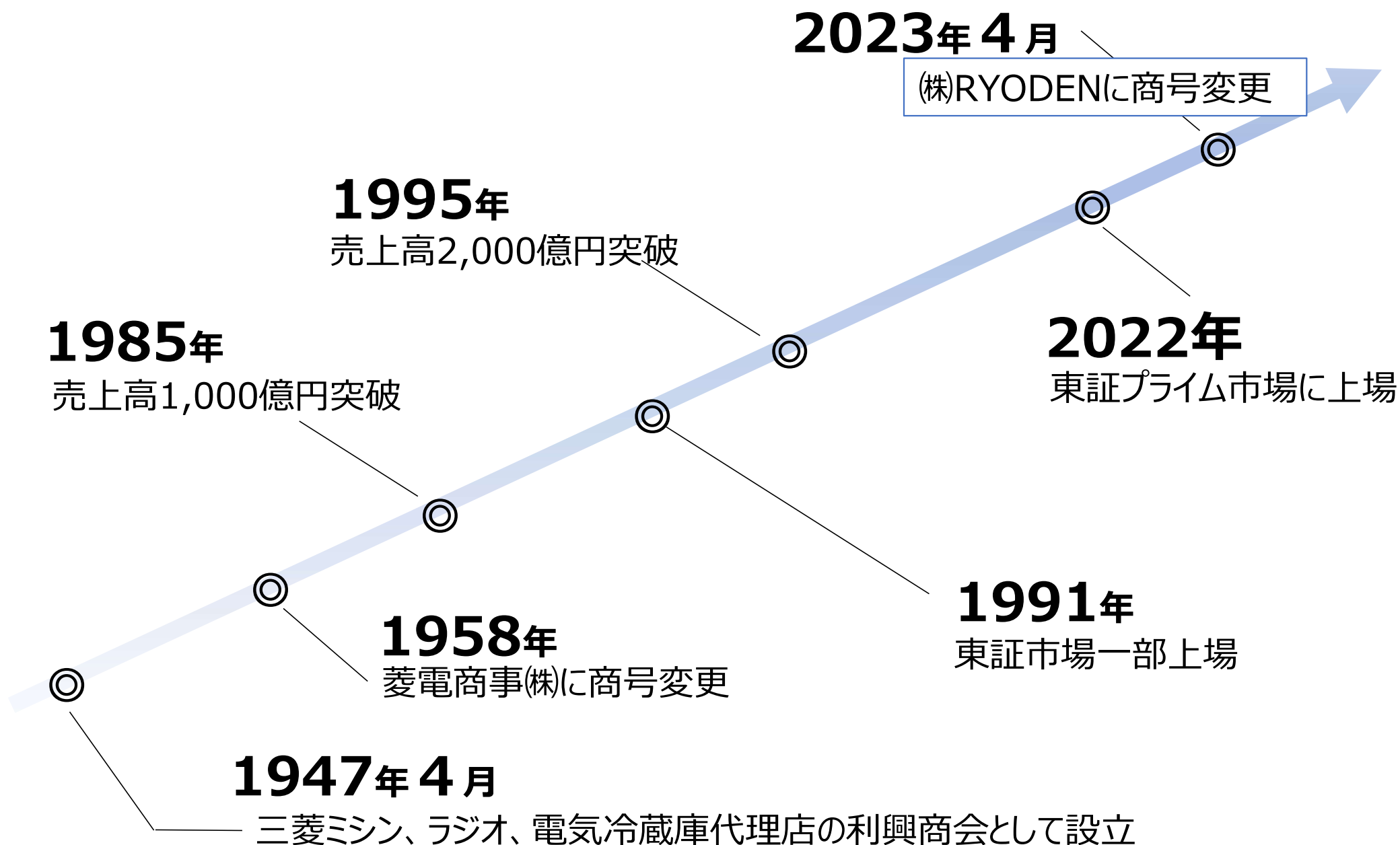
純利益：**50億円**

総資産：**1,409億円**

自己資本比率：**52.9%**



2022年4月 当社は創立75周年を迎えました



FAシステム



429億円
(18.8%)

X-Tech (クロステック)



69億円
(3.1%)

247億円
(10.8%)

Order Made Elevator
NEXCUBE

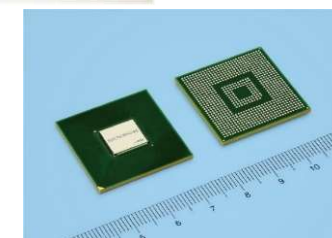
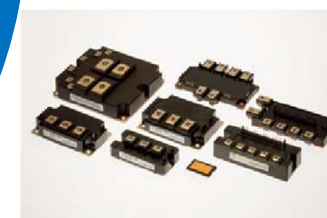


ファシリアDD



売上高
2,291
億円

1,544億円
(67.3%)



冷熱ビルシステム

エレクトロニクス

2. 2023年3月期 第2四半期決算サマリー

2023年度3月期第2四半期決算サマリー



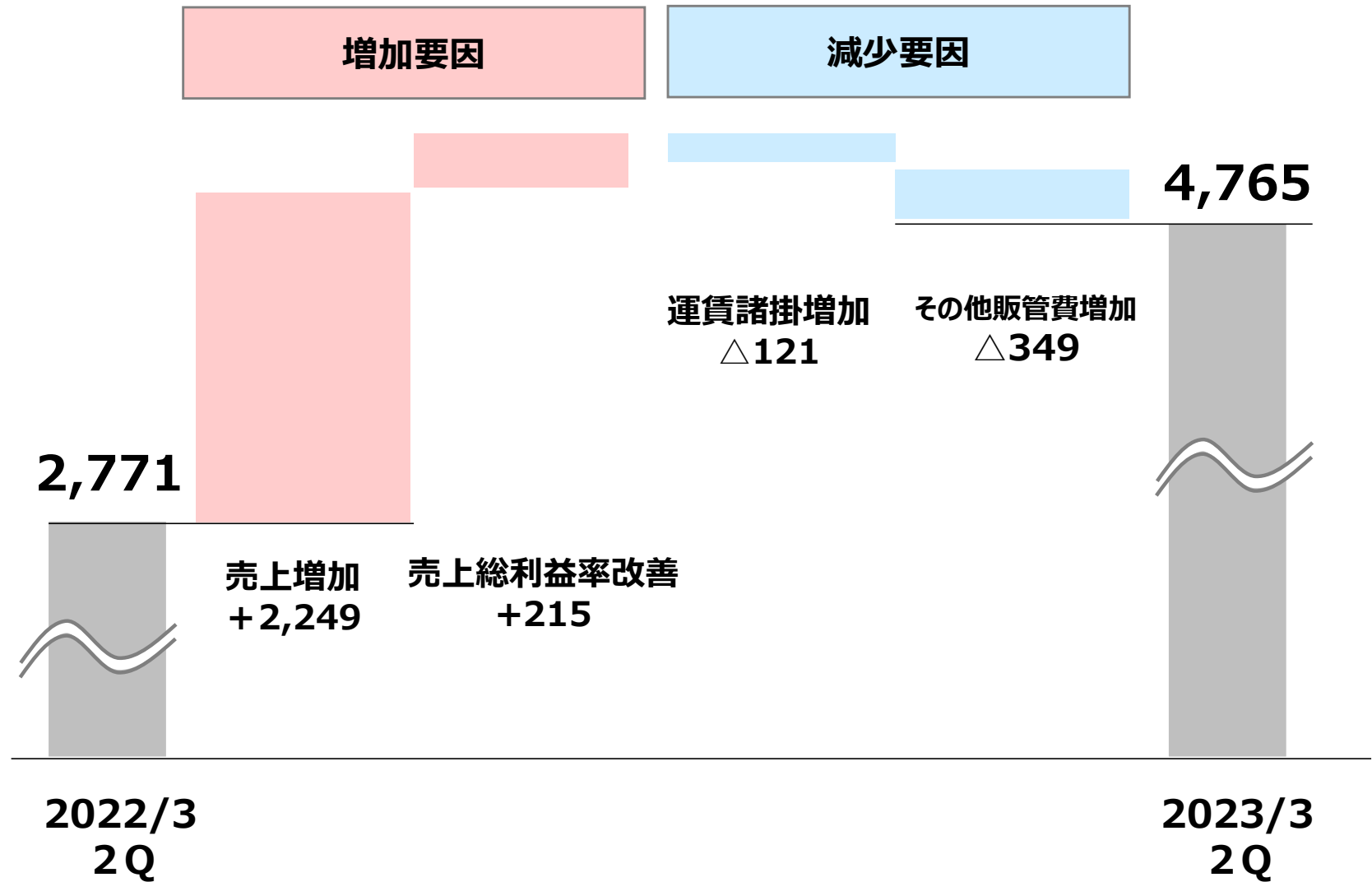
(百万円)	2022年3月期 2Q実績	2023年3月期 2Q実績	増減	2023年3月期 期初見通し	2023年3月期 修正見通し
売上高	107,310	127,033	+19,723	240,000	249,000
営業利益	2,771	4,765	+1,994	7,100	7,900
経常利益	2,834	4,714	+1,880	7,300	7,800
当期純利益	1,890	3,170	+1,280	5,100	5,300
			配当	58円	66円

(中間33円
期末33円)

- 前年同期比増収増益
- 売上高及び各段階利益は第2四半期として過去最高を達成
- 堅調な業績を受け、23年3月期業績見通しを上方修正
- 年間配当金の予想を66円に修正(8円増配)

営業利益の増加要因

■ 営業利益は、売上の増加と売上総利益率の向上により増益



財務状況



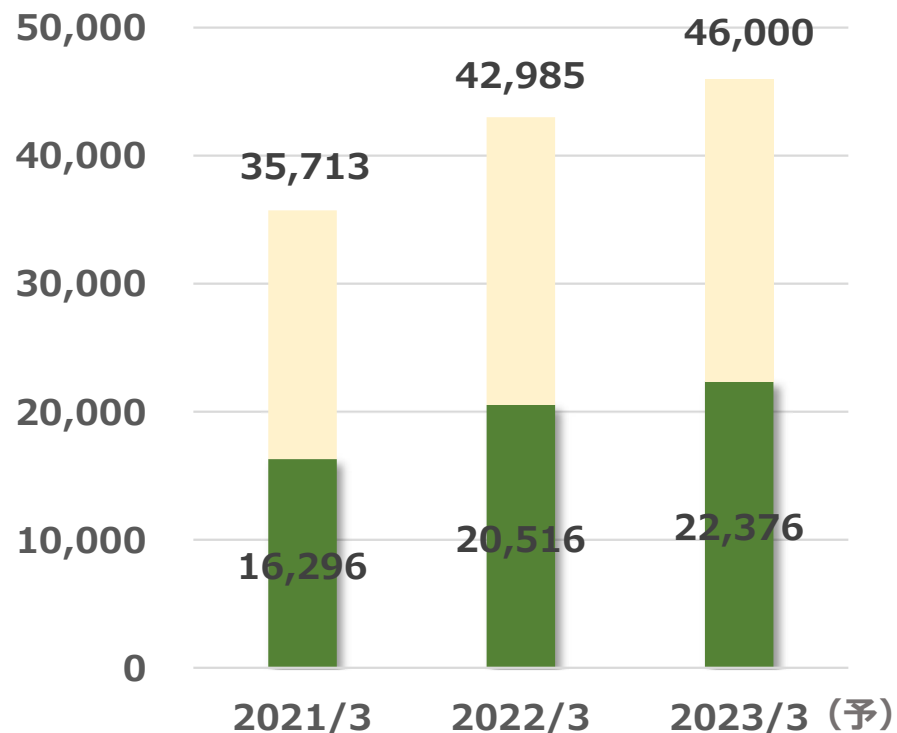
(百万円)	2022/3	2023/3 2Q	増減
総資産	140,970	146,640	5,669
負債合計	66,204	67,768	1,564
純資産	74,766	78,871	4,105
自己資本比率 (%)	52.9%	53.7%	+0.8pt

(百万円)	2022/3 2Q	2023/3 2Q	増減
営業活動キャッシュフロー	△1,453	△3,699	△2,245
投資活動キャッシュフロー	△980	△1,331	△351
財務活動キャッシュフロー	△544	742	1,286
現金及び現金同等物	18,369	8,451	△9,918

3. セグメント別の実績・見通し

売上高 (百万円)

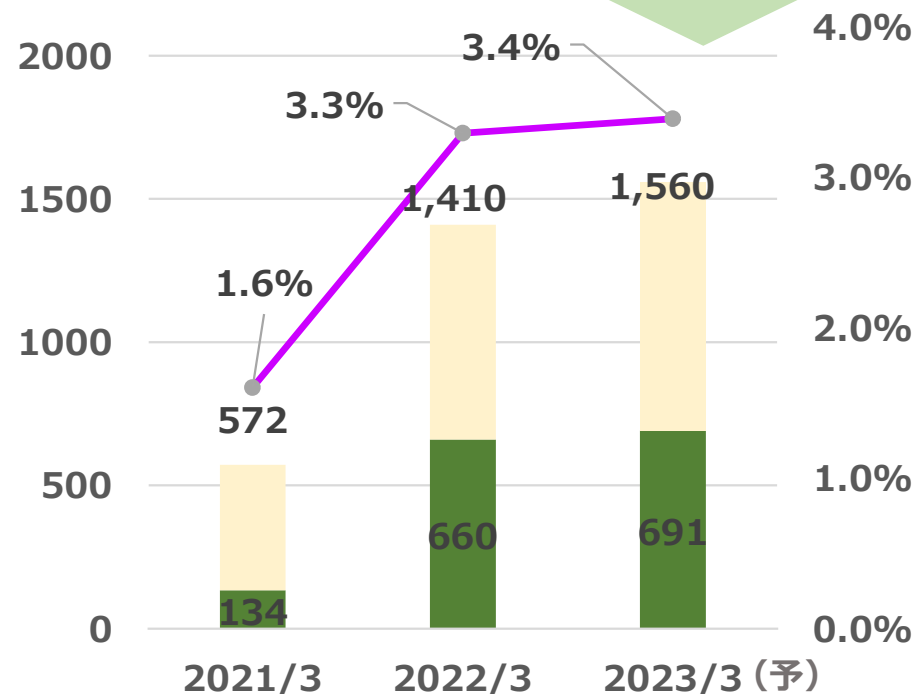
前期比
107.0%



営業利益 (百万円)

営業利益率 (%)

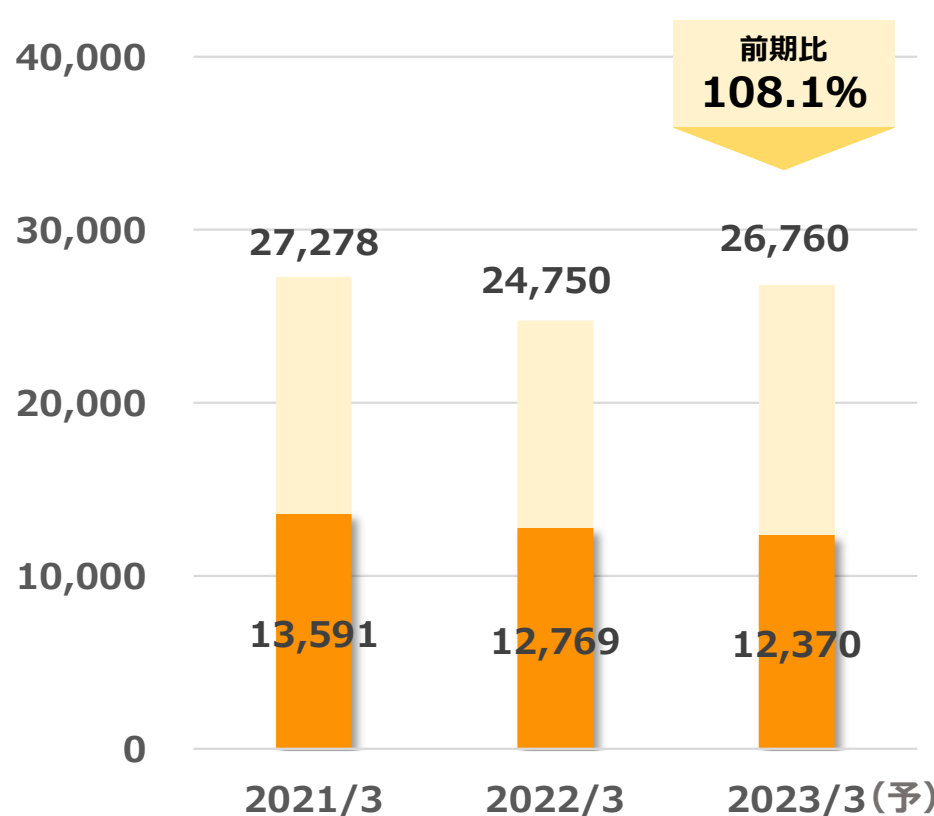
前期比
110.6%



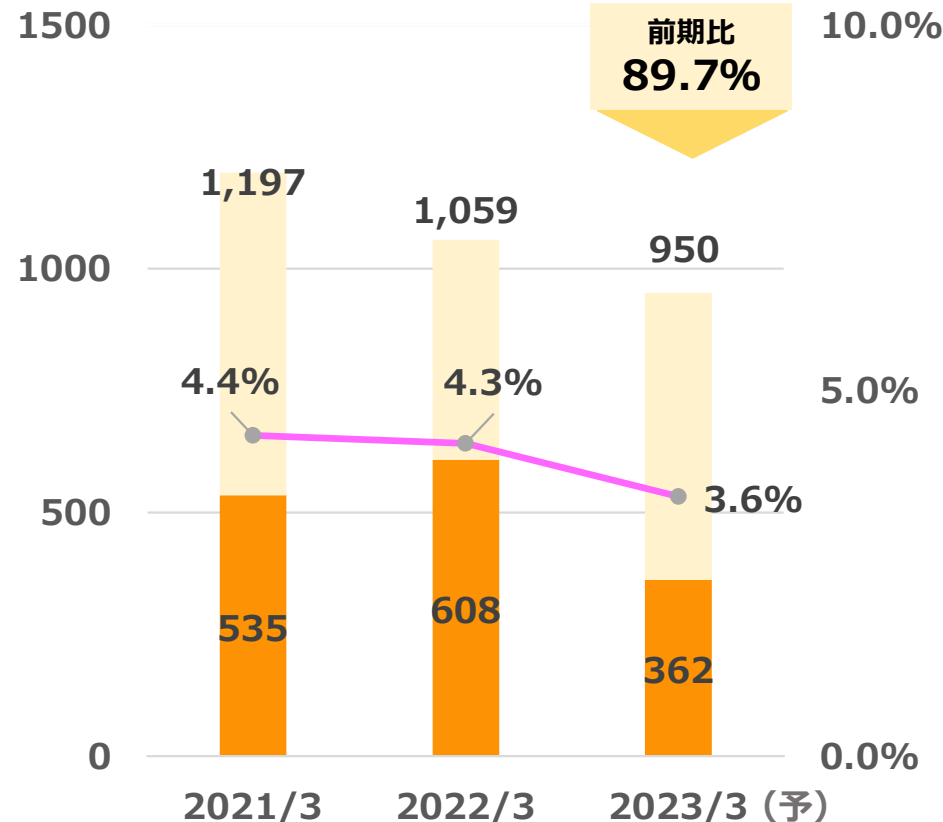
主なポイント

- ◆ 上期：国内は装置メーカー向けACサーボ・CNCの需要が好調に推移。中国はNCが市場が急減速により伸び悩むがFA機器がカバー
- ◆ 下期：受注が積み上がっており、市況回復の見通し、中国は上期と同様にNCは低調である一方FA機器は堅調

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)

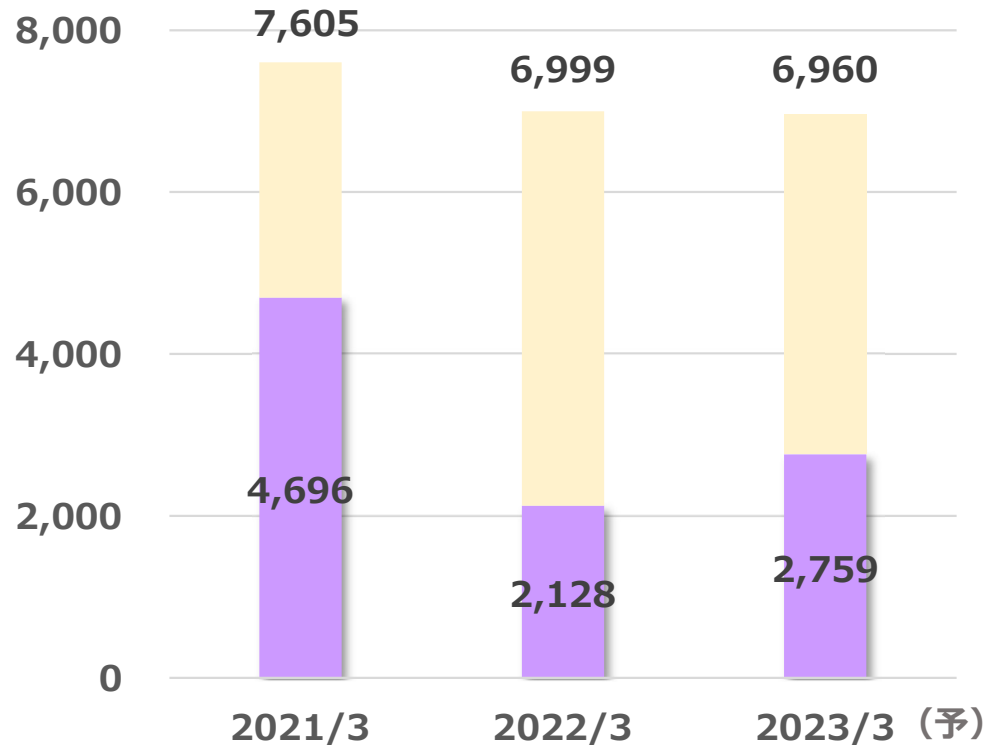


主なポイント

- ◆ 上期：冷熱システムはエアコン等の販売が下支えしたもののビル空調設備案件の低迷により低調、ビルシステムも低調に推移。
- ◆ 下期：FAと同じく受注が積み上がっており、回復の見通し

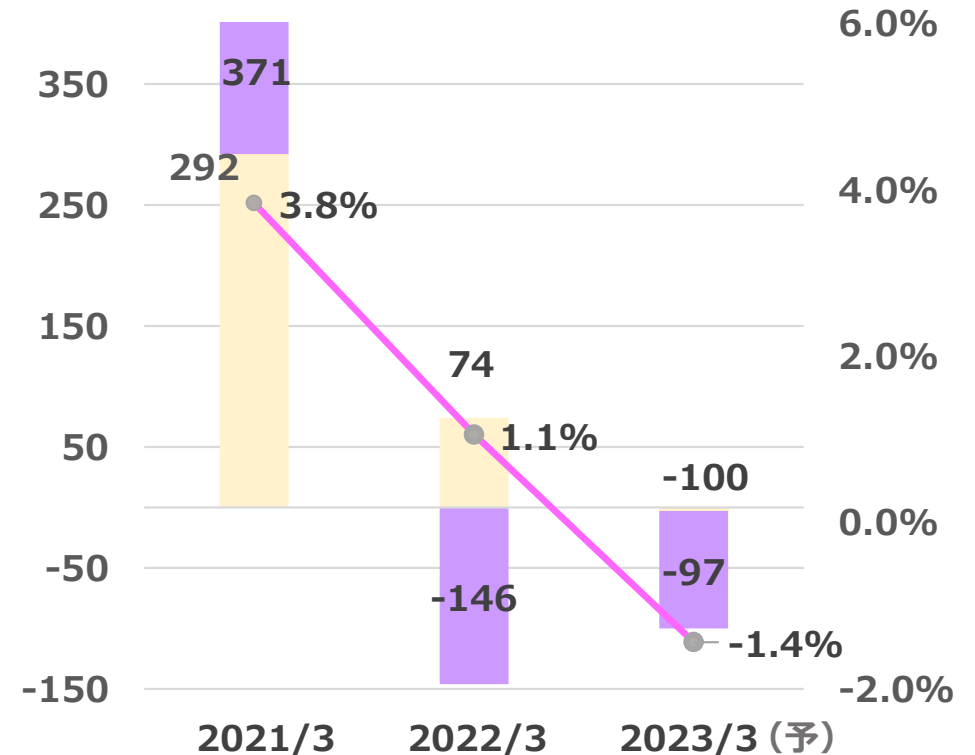
売上高 (百万円)

前期比
99.4%



営業利益 (百万円)

営業利益率 (%)

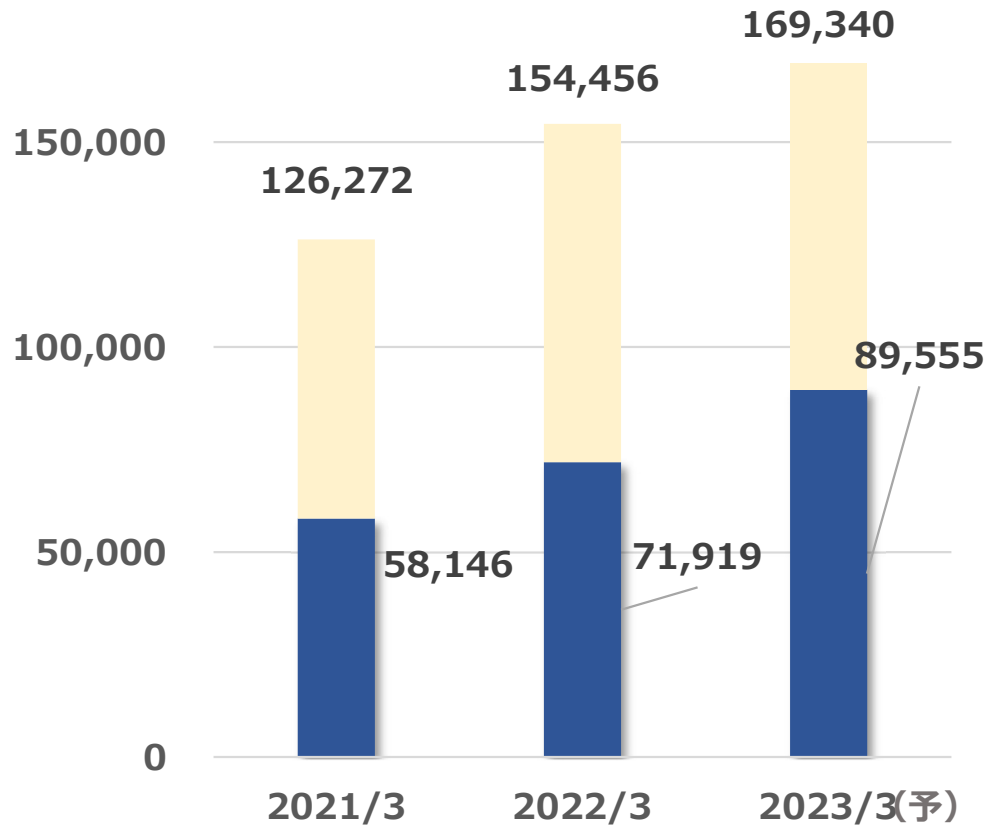


主なポイント

- ◆ 上期：ヘルスケア・ICTはこれまでの取組みが成果を出しつつあり好調に推移。スマートアグリはブロックファームでほうれん草の量産化に取組み中。
- ◆ 下期：ヘルスケア・ICT・スマートアグリいずれも期初の計画どおり推移する見込み

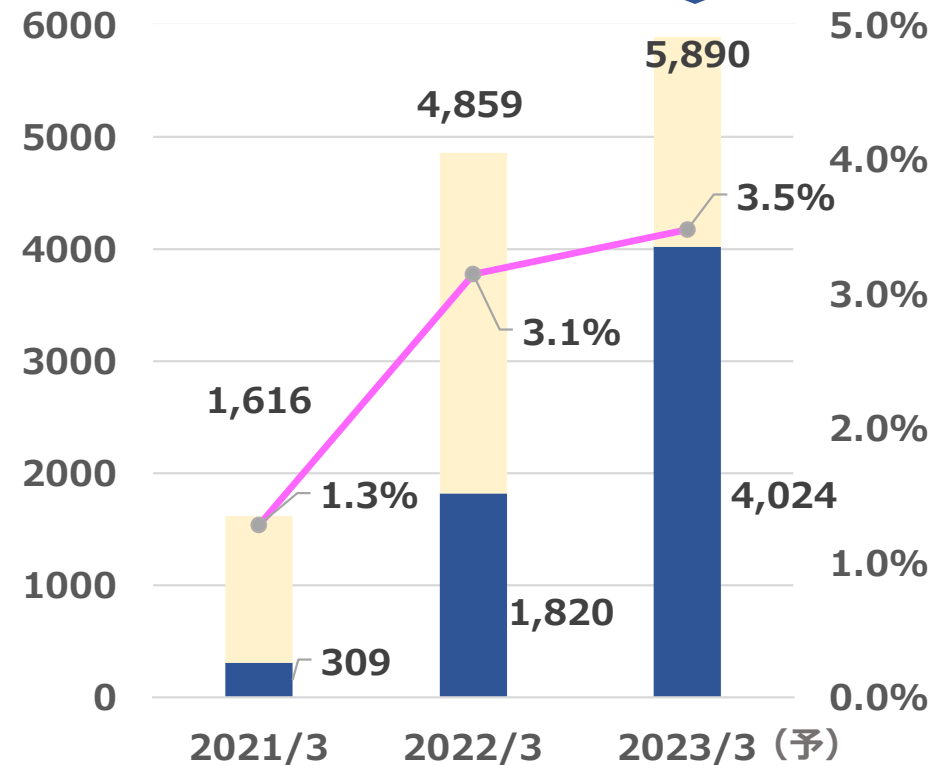
売上高 (百万円)

前期比
109.6%



営業利益 (百万円) 営業利益率 (%)

前期比
121.2%



主なポイント

- ◆ 上期：車載市場でのSoCやメモリ等の販売、産業機器市場でのアナログ半導体等の販売が堅調に推移
- ◆ 下期：昨年度から好調を維持してきたが、顧客の生産・在庫調整に伴い年明けから減速の見込み

セグメント別実績・見通しサマリー



(百万円)		2023/3 2Q実績	2023/3 下期予想	2023/3 予想	2022/3 実績
FAシステム	売上高	22,376	23,624	46,000	42,985
	営業利益	691	869	1,560	1,410
冷熱ビル システム	売上高	12,370	14,389	26,760	24,750
	営業利益	362	588	950	1,059
※1 X-Tech (クロステック)	売上高	2,759	4,201	6,960	6,999
	営業利益	△97	△3	△100	74
エレクトロ ニクス	売上高	89,555	79,785	169,340	154,456
	営業利益	4,024	1,866	5,890	4,859
合計	売上高	127,033	121,966	249,000	229,126
	営業利益 ※2	4,765	3,135	7,900	7,062

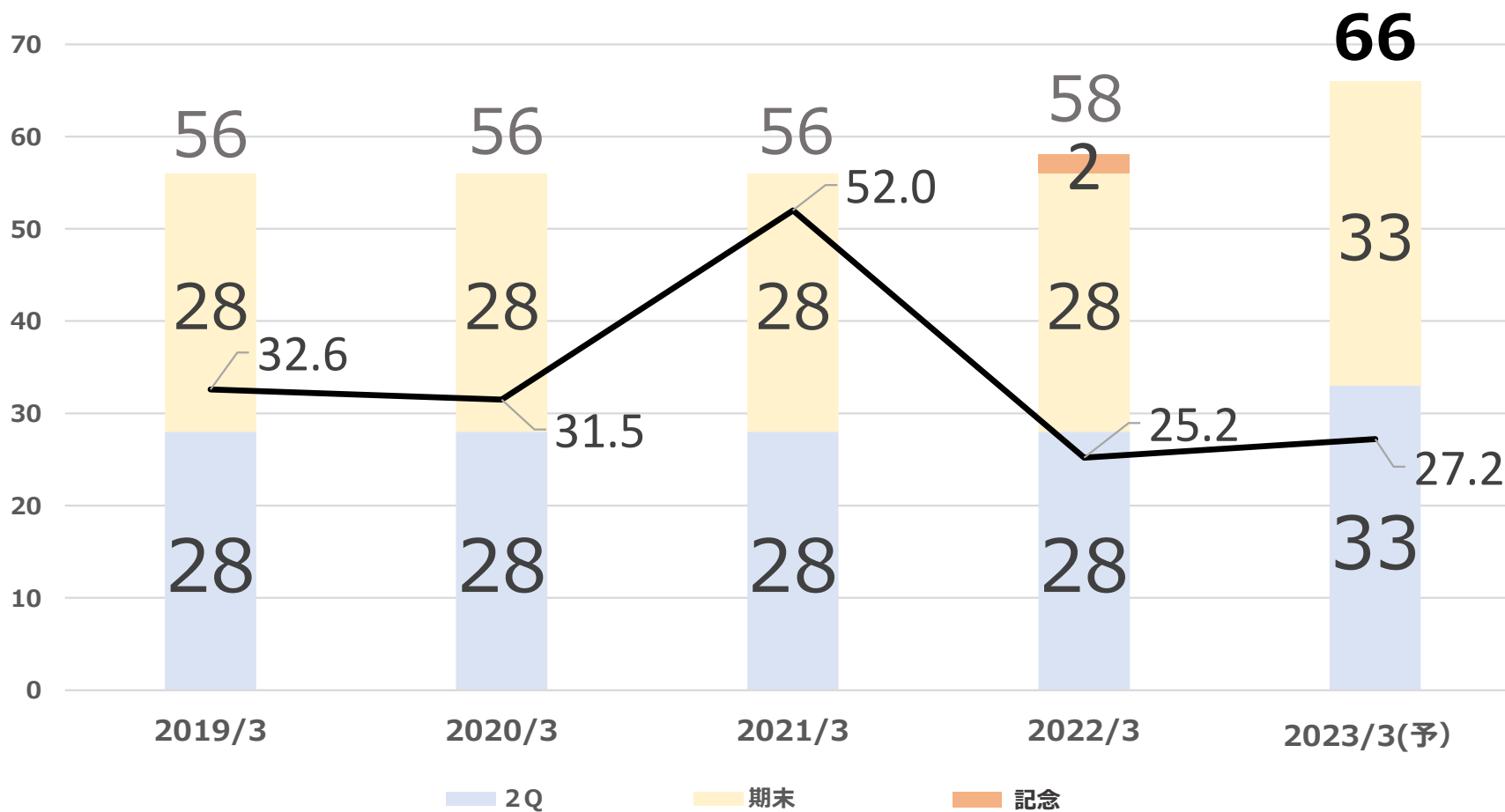
※1 第1四半期連結会計期間より報告セグメントの名称を変更しており、前年同期比較については当該変更後の名称で比較しております。

※2 合計値の営業利益には全社費用を含めております。

4. 株主還元

配当金・配当性向の推移

- 短期的な業績に連動せず中長期的な安定配当を維持・継続する
配当方針に変更なし
- 業績動向を踏まえ、株主還元強化の一環として中間・期末
期初予想よりそれぞれ4円増配



(円)

5. 成長戦略

成長戦略	成果	今後の取組み
------	----	--------

成長事業のビジネスモデルの確立と次世代新規ビジネスの創出

スマートアグリ	子会社Block FARMで革新的な省エネ植物工場を竣工。やさいの生産事業に参入	エネルギー価格の急騰を踏まえたさらなる革新的事業モデルの再構築と生産事業の早期立ち上げ
ヘルスケア	中小病院向けトータルパックITの売上確保	トータルパックITの拡販による収益基盤確立
ICT	大手食品・飲料メーカー、自動車メーカーなどの全国の工場へ展開	ビジネスカメラ「FlaRevo」(フラレボ)の拡販
新規ビジネス	食の安心・安全に資するペストコントロールを支援するクラウド型AIサービスの開始	食品製造業を中心にパートナー企業と連携したペストコントロールの提案拡大
新規ビジネス	クラウド統合管理システム事業立ち上げ	クラウド統合管理システム：Remces (レムセス)の拡販。収益化を目指す
新規ビジネス	(株)ゼロボードとの脱炭素活動での協業スタート	GHG (温室効果ガス) 排出量の算定・可視化による脱炭素エコシステムを実現するビジネスモデルの確立

基幹中核事業における生産性向上

FAシステム	システムエンジニア事業の進展	製造業DXを踏まえたサービスの発掘と提案力の強化、成長市場 (中国・東南アジア) での事業拡大
冷熱ビルシステム	エンジニアリング機能の強化	産業冷熱ビジネスの拡大・省エネ需要の取り込み
エレクトロニクス	次世代モビリティソリューションのデザイン・イン	事業ポートフォリオの最適化に向けた事業推進体制の整備、FAEの強化

ほうれん草の大量生産を実現する 世界初・植物工場

- ✓ 竣工
- ✓ 生産量
- ✓ 特徴

2022年5月

3トン/日

年間電力使用量

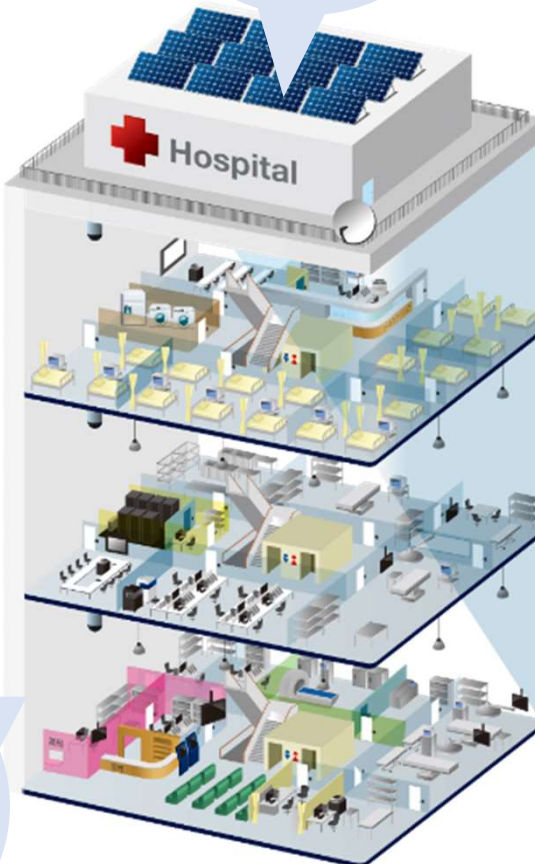
従来比50%削減*

*当社調べ

RYODEN
スマートアグリ
×
ファームシップ

安心して安全な食の安定的な提供を実現
革新的な栽培モデルをお客さまに提案

病院内のITシステムを 一つのパッケージとしてご提供



電子カルテ



クラウドを活用し、病院のDXを支援します

見たい瞬間の映像を的確に提供するビジネスカメラ



見るべき映像を提案し、
お客さまに気づきを提供

録画

現場を可視化

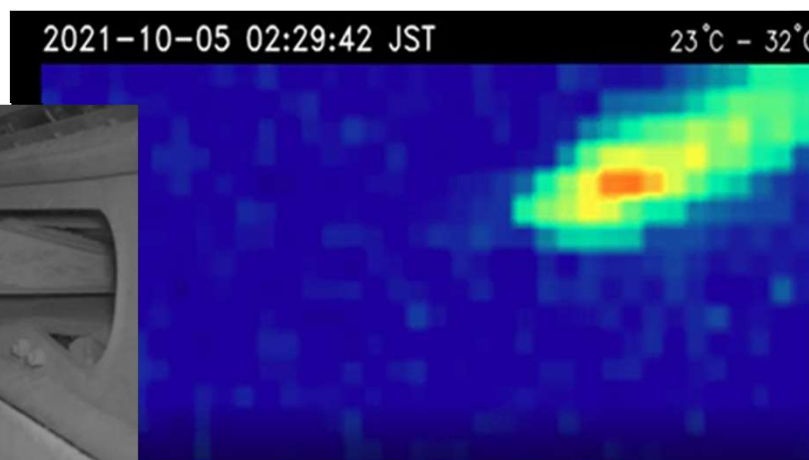
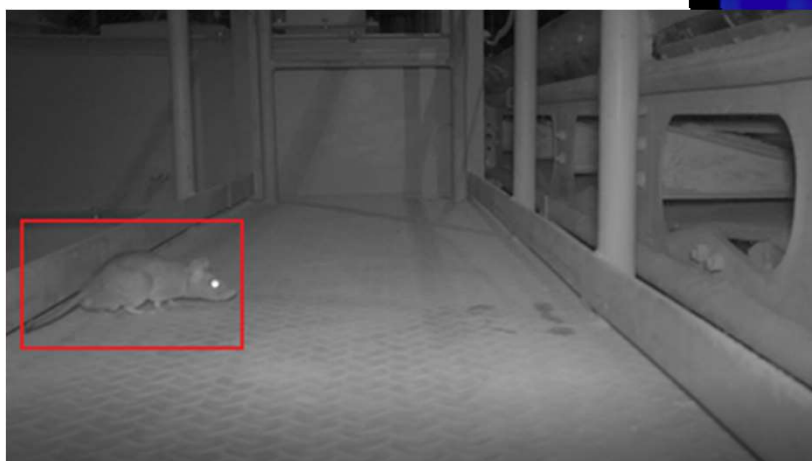
映像提案

映像にブックマークを設定し見たい映像を探す時間を大幅に短縮

共有 / 保存

自動で映像を共有・保存

センサで取得した害獣の情報を“リアルタイム”に通知し、継続的に監視。
管理・分析を容易にするサブスクリプション型
AIサービス。



ペストコントロールに取り組む企業のDXを支援し、省力・省人化した衛生管理環境の構築に貢献します

Remces (レムセス)

あらゆる場所で生産性や省エネルギー性の向上、
空調の最適化などを図るIoTプラットフォーム



見える

データ収集

データ可視化

観える

集中監視



診える

制御・最適化

予知保全

リモートメンテナンス

GHG（温室効果ガス）排出量を算定・可視化



企業活動やサプライチェーン由来のGHG排出量をGHGプロトコル*に基づいて算定・可視化できるクラウドサービス



RYODEN
×
ゼロボード

*GHGの排出量の算定と報告の国際基準

エレクトロニクス業界の脱炭素エコシステム実現
を支援



幅広い事業領域

- FAシステム
- 冷熱システム
- ビルシステム
- エレクトロニクス
- ヘルスケア・スマートアグリ



グローカライゼーション

- グローバルでの活動
- お客さま起点での活動



ICT技術力

- センシング技術
- 制御技術のデータ活用
- ソリューション、システム提案



新たな価値を生み出す



事業創出会社 を目指します



■ 統合報告「RYODEN REPORT 2022」を発刊（22年9月）

本年度は「RYODENの価値創造ストーリー～100年企業を目指して～」と題し、当社の「環境・安心・安全」の価値を生み出すビジネスモデルへの進化と代理店・商社の枠を超えた“事業創出会社”としての長期持続的な価値創造・企業価値拡大のイメージを創立75周年特集としてご説明。

トップメッセージ（P1-4）



創立75周年特集（P7-14）



社外取締役メッセージ（P 46）



※英語版は11月発刊予定

■ (株)シェアードリサーチによる情報発信（23年1月予定）

- ✓ 国内外の機関投資家の皆さまへの情報発信を強化
- ✓ 投資家目線での情報発信に取り組んでまいります



2023年4月

株式会社RYODEN

に社名を変更します



菱電商事株式会社

〒170-8448 東京都豊島区東池袋3-15-15

総務部 法務・株式課

e-mail:ryoden_ir@mgw.ryoden.co.jp

TEL:03-5396-6112

FAX:03-5396-6448

資料の取り扱い上のご注意

このプレゼンテーションで述べられている業績計画等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。その要因のうち、主なものは以下のとおりです。

- ・主要市場（日本、アジア等）の経済状況、消費動向及び製品需給の急激な変動
- ・ドル等の対円為替相場の大幅な変動
- ・資本市場における相場の大幅な変動等